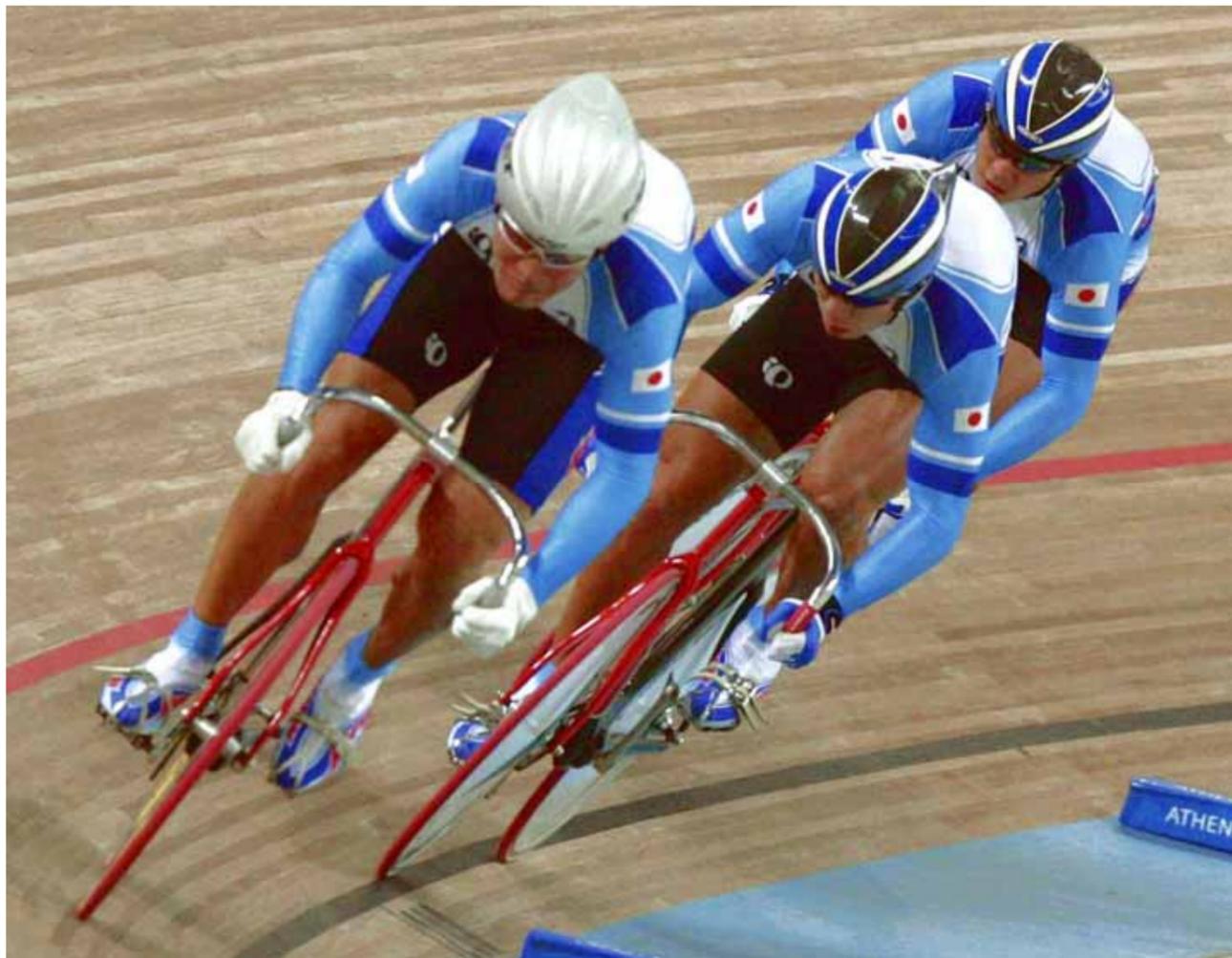


自転車でも銀

チームSPRで過去最高



男子チームスプリントで銀メダルを獲得した日本チーム。左から長塚、伏見、井上IIベロドローム(共同)

【アテネ二十一日共同】アテネ五輪第9日の二十一日、自転車の男子チームスプリントで日本が銀メダルを獲得した。日本勢は大会第2日の十四日から8日連続のメダル獲得で、好調が続いている。

競輪の伏見俊昭(日本競輪選手会)らトッププロ3人がチームを組んだ自転車の日本は、決勝では強豪ドイツに惜しくも敗れた。五輪自転車でのメダル獲得は一九八四年ロサンゼルス、九六年アトランタ大会の銅メダル以来3度目で銀メダルは最高成績だった。

男子チームスプリントで競輪選手3人で固めた日本(伏見俊昭、長

塚智広、井上昌己)は決勝で44秒246でドイツに敗れたが、日本として五輪史上最高となる銀メダルを獲得した。同競技でのメダル獲得は九六年アトランタ五輪の男子千メートルタイムトライアルで3位になった十文字貴信以来、3度目。

日本は予選を3位で通過すると、8チームによる1回戦でオランダに快勝し、勝者の2番目のタイムをマーク。決勝では好スタートを切ったが、中盤以降にドイツにリードを許した。

男子四千メートル個人追い抜きはウィギンズ(英国)が制した。